

着付け教室 + 博多織織元 + 障害者就労支援施設

帯の魅力紡ぎ合う

着付け教室と博多織織元、障害者就労支援施設が合同で開く作品展「帯伝説」が19日、福岡市・天神の西鉄ソラリアホテルで開かれる。着付け講師らが春夏秋冬を表現した帯結びや、施設利用者が自由に織った「さをり織り」の小物などを紹介する。寿着付専門学院（同市中央区）の末永由紀子学院長（54）は「着物だけでなくドレスに合う帯の結び方など、新しい提案をしたい」と話す。



①桜、ヒマワリなど帯の結び方で四季を表現する着付け講師たち
②さをり織りでストール、Ｔシャツなどの作品を作る通所者の杉山さん（写真中央）

19日 天神でコラボ作品展

着物のある暮らしと手仕事の可能性を伝えようと、同学院が博多織織元の岡野（那珂川町）、障害者就労支援などをする創造館クリエイティブハウス（北九州市小倉北区）に呼び掛け、一緒にイベントを開くことになった。

同学院講師らは帯の結び方を工夫することで桜、ヒマワリ、楽器などを形作った作品約30点を展示。岡野は帯、小物などを出展する。創造館クリエイティブハウスは古い着物を裂いて織ったストールなど、さをり織りの小物を出展する。

創造館では通所者18人が、さをり織りと陶芸作品に取り組んでおり、約1年通所する杉山美智子さん（29）は「自分で織っていても、どんな仕上がりになるか分からない面白さがある。小物を通じて、織り物に興味を持ってもらえるとうれしい」と来場を呼び掛けている。会場ではさをり織りの実演もある。入場800円（前売り500円）。同学院 092（741）9304。